

## 令和5年度 市長のタウンミーティング実施報告書（経田地区）

会場名	経田公民館	日時	10月23日(月) 19時00分 ～20時45分
市側の出席者	市長 村椿 晃 企画部長、総務部長、産業建設部長、民生部長、教育委員会事務局長、情報広報課長、地域協働課 協働推進係長、情報広報課 広報広聴係長(司会)		
参加者数	28名	YOUTUBE 動画	視聴者数(最高時点) 13人 チャット(投稿数) 2件



### 1. 市長講話

市長 村椿 晃 「自治基本条例・各地域におけるコミュニティセンターについて」  
(20分程度 資料に基づき講話)

### 2. 事前質問（地区から事前にいただいた提言・提案等について）

①市長はこれから10年後どんな世界になると思いますか？そのとき魚津市は残っているでしょうか。どこかと合併していると思いますか。電車は残っていますか。財政のために何か切り残していくのでしょうか。グレートリセットは本当に必要でしょうか。国の財政が破綻するのは嘘ですね？答えられない部分があると思いますが、市長として率直なご意見を聞かせてください。

(村椿市長)

10年後、魚津市は残っているか。当然残っていると思います。そんなにすぐ市がなくなるといふことはありえません。

それから、合併をしているか。これはしていないと思います。今のところは毎年1パーセントほど人口が減少しているので、単純に計算すると10年で10パーセント人口が減少するということになりますが、そのレベルでは合併は現実的でないと思います。ただ、他の自治体と一緒に何かをすることで経費を分け合うという取り組みは進んでいくと思います。

それから、電車は残っているか。残っていると思います。ただ、西の方では城端線と氷

見線の議論があります。あれも、今すぐ廃線にしないといけないほど利用が少ないわけではないが、近い将来を見据えて議論が進んでいます。それよりも我々は地鉄に残ってほしいので、その要望は県にも伝えています。この地域は、学生のことを考えてもやっぱり地鉄が大事なので、しっかり残していくための働きかけをしていきたいと思っています。

それから、グレートリセット。グレートリセットとは何かというと、今まで当たり前だと思っていた仕組みが変わることをそう呼んでいます。要は、時代の変化や社会の変化に合わせていろんな仕組みを考えていきましょうということです。ですから、「グレートリセットが必要か」と言われると、必要、不必要ではなくて、否応なしにそういうことを考えて、その対応をしていくことが求められるということになります。

国の財政が10年後すぐに破綻することはないと思います。今のまま続けば、国の借金は増えていきますが、その一方で、それを支える国民の資産はまだありますから、破綻をすることはないと思います。

②国民的人気棋士・藤井聡太竜王名人を魚津市にお呼びしてタイトル戦をしてもらったらどうか。また提案があります。人気棋士・藤井聡太が魚津にくるのだから魚津の観光地を招待しアピールする。魚津ブランド・ベニズワイガニ、ウマヅラカワハギを食べてもらい、魚津ブランドをアピールする。タイトル戦に便乗し、ネットで全国に配信する。また、雑誌への掲載、テレビ放映をする。魚津市を全国にさせていただく絶好の機会だと思います。魚津市が中心になり計画してほしい。

(村椿市長)

議会でも質問をされたので、この時もぜひ誘致に向けて頑張りますとお答えしました。今現在働きかけをしています。

ご質問にありますように、勝負飯とデザート、これが本当に全国的に取り上げられるんです。開催実現は大変ですが、2019年の2月に魚津で行われた棋王戦では渡辺明棋王と広瀬竜王が戦った実績があります。しかも魚津は村田さんという道下の将棋教室出身の若手だとか、服部さんだとか、すごい方が何名もいらっしゃいます。

正式に決まるかはまだわかりませんが、実現できるよう、取り組んでいきます。

③表向町内会、栄町町内会に面する海岸付近の除草・伐採のお願い。現状は、テトラポットが草木で見えなくなっている、経田七夕祭り開催の隣接地になっている、多くの人がランニング等で利用している。このような状況なので、海岸付近の環境を住民と市の協力で作り上げたい。

(村椿市長)

私も時々歩いたり自転車に乗って通ったりするので、おっしゃる状況はよくわかります。この道は県管理のものだから、勝手に何かできることはないけれども、そこはしっかり住民の皆さんと話をし、県も地域も一緒に何か検討するのが1番良いと思っています。

④経田小学校の存続はもちろんのこと、魚津工業高校や新川みどり野高校の存続を富山県に働きかけてほしい。

(村椿市長)

平成 26 年に策定した「学校規模適正化計画」の中で、市内の小学校を 4 校に統合していく、経田小学校は道下小学校と統合するという内容が書いてあります。

その時の計画は、令和 5 年度が目標年度になっていました。ただ、ご案内の通り経田小学校の児童数と道下小学校の児童数から、今は計画通りに統合する状況にないということで、状況をみながら見直しをしていくことになっています。

時代やその社会環境、そういったものの変化に応じて制度も変わっていく。どれだけ児童・生徒数が減っても学校を残してほしいと言われると、それはなかなか難しいです。一方で、子供が少しでもこの地域に残るような施策を一緒にやってみようという思いは一緒です。ですから、学校の問題については変遷があるといったことをまず頭に入れて、柔軟に考えていきたいという風に思っています。

⑤経田小学校の敷地周辺は防犯対策が甘い。プールの横、グラウンドの横から簡単に学校に侵入できてしまうのは問題ではないか。防犯カメラはあると思うが、それ以外の防犯対策に対して市からの助成をお願いしたい。

(教育委員会事務局長)

経田小学校の防犯カメラは、正面玄関の下の方に 2 台設置されています。おそらく学校の方が 1 番心配なのは、児童の昇降口、児童玄関のところは直接職員室から見えないという問題です。現在は、子供たちが登校していく際には、学校に入ったら施錠をするというようなことを行っています。

(村椿市長)

この問題は子供にかかわるとても大事なことですが、どこまでやるかというところもあります。極端ですが、例えば周りを高い塀で覆ってしまう。本当に安全というところということになりますよね。現実には、都会ではそのような学校もあります。この地域でもそういう風にしていくことがいいのかどうかというのも、考えさせられるところです。

実際は、先生方が安全状況がわかるような努力をしているのが現状です。ですから、少なくとも本当に危険な箇所の防犯カメラ設置については考えていきたいと思えます。どこまでやるかということは、地域の皆さんと一緒に話し合いながら共通理解をすることが大事だと思えます。

### 3. 意見交換（地区からの提言・提案等について）

○ 第一次産業（漁業、農業）の振興をお願いしたい。

(村椿市長)

まず第 1 に、魚津の農産物は非常にバラエティにとんでいて、特色があります、量はないかもしれないけれど、そういう地域だと思います。その証拠に、魚津市の昨年のふるさと納税額は約 4 億 8000 万円です。1 番多いのは氷見市の 6 億円で、3 番目が高岡市で 4 億 5000 万円ですので、県内第 2 位です。魚津市にも氷見市に負けていない特産品がありますし、それをもっと伸ばしていくことが大事です。

課題は農林、水産いずれも従事する人に関することだと思います。ですから、今我々は全国に声をかけて、地域おこし協力隊など、農林水産業を志す人に来てくださいと働きか

けています。魚津のことをしっかり知ってもらって、まず来てもらうということをしています。最近だとワーケーションとも言いますが、都会には「草刈りしたい」と考える人など、いろんな人がいます。そういう気持ち、意欲のある方々を呼び寄せたいと思っています。

農林水産業は燃料費高騰などで厳しい状況にありますので、そういったところは、市の財政の許す限り応援をしようということも9月の補正予算でやりました。これからもやる気を持ってもらえるように、そういうことをやっていきたいと思っています。

## ○ 区画整理などまちづくりが残念。進んでいないように感じるが、断念したのか？

(産業建設部長)

まちづくりを断念したわけではありません。区画整備という手法でのまちづくりは、同意がうまく取れなかったということで、区画整理とは別の手法でのまちづくりを北地区と南地区にご相談をさせていただいているところです。下水道にも道路整備はついて回りますから、道路と下水道を合わせて整備していくということで考えております。

状況ですが、北地区の皆さんは役員会を組織していて何回か町内会ごとの説明会もしているようで、優先順位を決めて進めるという話が進んでいるようです。今は、優先的に進める道路の補償は一体どうなるのかという話を聞かれているようですので、我々でそこをしっかりと整理して、改めて北地区の皆様にご相談したいと思っています。

## ○ 保育園の保育時間を延長してほしい

(民生部長)

保育園につきましては、保育士の配置の問題ですとか、様々な費用の問題がありまして、全て住民の方の希望に沿うことは今すぐには難しい状況にあります。様々なその他の支援で精一杯努力させていただきますので、ご了承いただきたいと思っています。

(村椿市長)

お金の問題もですが、1番は保育士さんの確保がネックかなと思います。市はこの秋から保育料・副食費の無償化ということで、年間1億円ぐらい投入していくんですけど、保育士の確保になるのなら、そちらも頑張るべきじゃないかという思いはもちろんあります。

根っことして人材が厳しい部分もありますが、子育ての経済的な負担の話と環境の話の両方をなんとか充実させようという取り組みをしているので、少しでもそういうサービス展開ができるように、頑張って検討していきたいと思います。

## ○ 軒先販売のお店について、行ってみたら売り切れということがあるので、農家さん側から情報発信できるものが何かあれば嬉しい

(村椿市長)

軒先販売をしている農家さんに在庫や状況を入力してほしいとお願いしても、おそらく「できない」という回答が想定されます。我々も協力して、情報が伝わるような取り組みができないか考えたいと思います。おっしゃる通りの問題点だと思います。

○ 区画整理について現状を知りたい。消防自動車が入らない、除雪が困難など様々な問題があるので、早く進めてほしい。

(村椿市長)

区画整理については、先ほどのご質問でお答えした通りです。市の方でやめたわけではありません。地元の皆さんに同意してもらうことがなかなかできないので、土地区画整理の手法が取れないというのが今までの流れです。消防や緊急車両が通る道をつけるために、道路の話はどうまとめるかということ在必死にやっています。用地補償と区画整理では手法が違うものですから、どうしても我々の思いだけでできるものではありません。なんとか安全な道を通すということを実現させたいと、今一生懸命努力をしています。

○ 土地が安い市外に家を建てる若者が多いように感じる。人口減少で土地がいっぱい余ってくるはずなので、その空き地を若い人に安く提供できないか。

(村椿市長)

同感ですが、土地の値段は我々がコントロールできるものではありません。魚津市は都市形成が早くでき、過去には県庁もあったという歴史的な背景により地価が高くなっているようです。

そのまま土地の値段を左右させることはできませんが、おっしゃるように若い人に安く住む場所を提供することは可能だと思います。例えば上市町では「0円空き家」という制度をしていますが、あのような取り組みを魚津市でもやりたいと思っています。やはり住宅コストが低ければ移住の選択肢に入ってくるので、我々は次の時代を支えてくれる人たちをどうやって呼び止めるかをしっかり考えていきますし、ぜひ何か挑戦していきたいと思っています。